

# 京大合唱団 同窓会通信

…第25号… 2016年6月

ホームページ：<http://www.eonet.ne.jp/~kuc-dosokai/> 同窓会への連絡・問合せメールアドレス：[kucdosokai@gmail.com](mailto:kucdosokai@gmail.com)

このたびの「平成28年熊本地震」により被災された熊本県・大分県はじめ九州地方の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈り致します。

## 年代が異なる文化の共有

吉田郷弘 (S34卒)

京大合唱団が設立されたのは昭和6(1931)年で、今年が創立85周年に当たる。大学合唱団として、かなり古い歴史を誇るものであろう。一方、同窓会の設立は昭和29(1954)年で、団の歴史に比べるとかなり若い。しかも、合唱団は幾多の危機を乗り越えて今日まで活動を停止することなく存続しているが、同窓会活動は一時期休眠状態にあった。

旧部室に残されていた資料で、同窓会報の一番新しいものは、昭和50(1975)年発行のものである。活動が再開されたのは平成7(1995)年、24年ぶりの会員名簿の発行からであった。これは当時同窓会代表であった笠原皓司さんと協力者のご努力で実現したものである。さらにこの年、定年退職を機に京都へ帰って来られた熊谷直英さんを中心に久しぶりの同窓会総会が9月に開催され、この後、創立70周年記念事業、同窓会によるコンサートなど、現在に至る活動の礎が確立された。平成15(2003)年、それまでの準備期間を経て同窓会合唱団が結成され、翌年から同窓会通信が年2回発行されるようになった。平成21(2009)年には東京に洛友ハーモニーが結成され、昨年、両合唱団合同の東京演奏会が開催された。また、関東では平成12(2000)年から関東小同窓会が毎年開催されている。このような活発な活動が認められて、京都大学同窓会の有力団体として、松井会長が評議員を依頼されている。

このように、同窓会活動は順風満帆と言いたいところであるが、若い世代の加入率が低いという泣き所がある。これには幹事会の主要課題として、私の会長時代から取り組んできており、松井会長の下で更に強力に現団への働きかけを行って頂いているが、どうも期待したような成果が出ていないようである。

某日、同窓会合唱団練習後の飲み会で、同窓会の魅力について話し合った。

まずは、青春時代への郷愁が満たされる場として。しかし、それだけなら同世代のメンバーと時折出会えばよい。同窓会の意義は、世代を超えた交流が可能である点にある。我が合唱団の良いところは、出身地を含め多様なバックグラウンドを持った人との交流が出来た点にあった。これがその後の人生の肥やしになっていることは同窓生が等しく感じているところであろう。その交流を通じて得た最大のものは、文化の共有であろう。あるいは価値観の共有と言ってもよい。これがあるから、合唱団同窓生に出会った時、あまり言葉を尽くさなくても、お互いの生き方を理解し合えるのは、よく経験されていると思う。これだけなら、同世代のメンバーとの交流で十分ではないかとなりそうだが、同窓会活動に参加することで、世代の異なる人との交流が、ハードルを感じることも無く行える点に、同窓生である大きな意義がある。

同世代との交流で、異なる空間の文化との共有ができるとすると、異世代との交流は年代が異なる文化との共有に繋がる。しかも、大事なことは、そのベースに青春時代に身に付いた共通の基盤がある点である。この魅力は、将来にのみ目を据えている新卒団生にはわからないかも知れないが、社会に出て数年もすれば分かるはずであり、その時に同窓会に関心をもって貰えるだろう。それまでの期間は、一方的に同窓会から情報を発信し続けると共に、同世代のキーパソンの協力を得て、可能な限り同窓会の行事(本格的な演奏会だけでなくホームカミングデーもある)に参加するよう呼びかけが必要だろう。

## 京大合唱団 Summer Concert 2016 案内

現団はこの夏、つぎのコンサートを開催します。多くの方のご来場をお待ちしています。

**日時** 2016年7月16日(土) 開場 15:00 開演 15:30

入場無料

**会場** 京都市右京ふれあい文化会館

### ♪1st Stage 男声合唱曲集「壁さえた」より

1. アルデバラン 2. 就職 5. 壁さえた 7. 春つめたや 8. 北極星の子守歌  
作詞 谷川雁 作曲 新実徳英 指揮 田村憲志朗 京都大学男声合唱団

### ♪2nd Stage MISSA BREVIS

Kyrie Gloria Sanctus Agnus Dei  
作曲 NANCY TELFER 指揮 高原葵 京都フラウエンコール

### ♪3rd Stage 混声合唱組曲「太陽と海と季節が」

I. 太陽と海と季節が II. 海の記憶 III. 林の中を風と歩く IV. 一日の終りに  
作詩 高野民雄 作曲 森山至貴 指揮 徳永岳志 ピアノ 竹田景子 京大合唱団

## 京大合唱団 フェアウェルコンサート2016を聞いて

「京大合唱団 フェアウェルコンサート2016」が、2016年2月20日(土)カトリック聖ヴィアートル北白川教会で行われました。例年のように、手書きの卒団生名簿の小冊子が配られ、卒団生一人一人のプロフィール・団内生活・活躍の様子がユーモア一杯に紹介され、読みながら開演を待ちました。

当日は寒い雨にも拘わらず、近い卒団生・現役とOBで一席も残さず満席でした。

第一ステージ 宮内徳一作詩・萩原英彦作曲 男声合唱のための「雨のやみかた」、第二ステージ 新川和江作詩・高嶋みどり作曲 女声合唱とピアノのための「明日のりんご」より、第三ステージ 八木重吉作詞・北川昇作曲 無伴奏混声合唱組曲「心よ」。

ステージに乗った卒団生は23名で、アルト2名・トップ2名・セカンド1名は厳しかったけれども良く声が出て、さすがに4年間を共に過ごした仲間らしく、少人数でも良くハモっていました。4年間をやり遂げて晴れ晴れとした表情が印象的でした。

山下千之 (S44卒)



京大合唱団 (2015年11月撮影)

## 京都大学からホームカミングディに協力依頼

京都大学は2006年頃全学にあるさまざまな同窓会のネットワークづくりを始めました。京大合唱団同窓会にも声がかかり大学のホームページ上で活動紹介を行いました。

2013年5月9日、全学の同窓会より京大合唱団同窓会に対し評議員の推薦依頼がありました。同窓会から全学の同窓会事務局に今回の目的や就任に伴う責任について説明を求めた結果、評議員の構成を地域同窓会や学内公認課外活動団体の実態に合わせることを主な目的としていること、また就任に伴う責任はホームカミングディの日に開催される役員総会出席など限定的であることが伝えられました。その年の5月18日幹事会は、今回の推薦が京大合唱団同窓会の活動を大学として評価した結果であること、また過度な負担がないことが確認されたことにより推薦依頼を受けることを決定しました。

2016年2月25日、全学の同窓会より京大合唱団同窓会に対しホームカミングディへの協力依頼がありました。今回の依頼はこれまでのような記念演奏会へのテンポラリーな出演ではなく、今後ある程度コンスタントに出演を求めるものであり、またホームカミングディ全体の宣伝にも一定の協力を求めるものです。4月16日幹事会、17日同窓会合唱団委員会で意見交換し、我々の出来る範囲で前向きに取り組むこととし、この旨19日に京都大学に返答しました。

今年11月5日（土）第11回ホームカミングディが開催されます。具体的計画が確定したとき、ホームページなどにより改めてお知らせしますので、多数ご来場頂きますようお願い致します。

（付記）京都大学交響楽団（一般には京大オケ）は2016年創立100周年を迎えることを伝え、先頃100周年記念事業行動計画を公表しました。

記録によれば1916年頃、京都帝国大学音楽部は、器楽と歌唱を一体として活動していました。1930年同交響楽団はバートベン第9交響曲の演奏を計画し、合唱メンバーを探していました。この計画に積極的に協力した竹内忠雄氏（当時法学部2回生）が中心となり、その後合唱団設立の動きが始まり、翌1931年30～40人からなる京都帝国大学男声合唱団が誕生、さらに男女混3部構成からなる京大合唱団に発展していったことはご承知の通りです。

大学の文化活動において同じルーツをもつものとして、京大合唱団同窓会は京都大学交響楽団創立100周年に心より祝意を表したいと思います。

広報・企画担当 石動正和（S48卒）

## 新幹事あいさつ

この度、幹事を引き受けることになりました。1970年入団、1976年卒団ということで合唱団には比較的長く在籍し、その分より多くの人と直接お付き合いをすることができました。その時々には、出会いと別れがあつてお互いに通り過ぎてきたと思つていましたが、同窓会という場で改めてこれまでお付き合いしてきた方と再会し、さらに、お名前だけは伝説的に聞いていたような諸先輩方とお付き合いする機会を得て、その歴史の厚みというものを実感しています。同窓会合唱団にも当初はご無沙汰していましたが、歌い出してもう7～8年ぐらいでしょうか、生活の一部となっています。

今の職場では1年以内に定年を迎えますが、幹事会では全く新米です。今年の名簿作りに加わり、先輩方の仕事を少しずつ引き継いでいくことになっています。

今後ともよろしくお願い致します。

大倉弘之（S51卒）

## 「京大合唱団同窓会名簿」(2016年版) について

前回の同窓会通信で「京大合唱団同窓会名簿」(2016年版)について、会員の皆さんにお知らせとお願いを致しました。特に、名簿改定の基礎となる「名簿情報連絡票のはがき」について、この2月末締め切りで返送をお願いしました。

その結果、返送されてきましたはがきは約300通で、これは、同窓会員約1,100名の三分の一にしかすぎません。

新しい名簿について予定通り6月の発行も考えましたが、上記の状況に鑑み、少し予定を遅らせ、その間次のような措置を取りたいと思います。

1. 「京大合唱団同窓会名簿」(2011年版)に掲載している個々人の情報について変更がある場合は、**7月15日まで**に下記宛ご連絡ください。

メールアドレス：ishibashi-ka@river.ocn.ne.jp

電話・FAX 075-957-9174 〒617-0846 長岡京市泉が丘9-12 石橋克己

2. 上記の連絡が無い場合、「京大合唱団同窓会名簿」(2011年版)に掲載している情報が正しいものとして、2016年版に引き続き掲載します。

以上よろしくお願い致します。

## 学生集会所の立替に伴う什器備品の整備支援について

明治44年(1911年)建設以来、多くの学生クラブ・サークルの活動拠点であった学生集会所が、昨年6月、104年ぶりに、約3倍の大きさで建て替えられました(通信第24号で紹介)。

同窓会としては、100年に一度の改築に伴い、これから50年、100年使い続ける京大合唱団のBOXに新しい什器備品を整備することに対し、現団だけでなく、同窓会にも責任があると判断し、必要な支援をすることを決定しました。

同窓会会員にも広く寄付を呼び掛けた結果、2015年度、34万円もの寄付が寄せられました。寄付の額は、前年に比べ約2倍になります(もっとも寄付金の目的は特定されていませんので、全てが什器備品に対する寄付とは断定できません)。

支援の内容と金額については次の通りです。

書棚、食器棚、テーブル、ラック、バンチ、印刷機など	898,572円
旧什器備品処分費用	100,000円
計	998,572円

財源は、寄付金と資金取り崩しを当てました(詳細は会計報告参照)。

寄付を頂いた方をはじめ、同窓会会員の皆様にご報告しますとともに、お礼を申し上げます。

代表幹事 石橋克己 (S48卒)



学生集会所

★同窓会通信は同窓会全体の主要な動きを会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図ることを目的としています。皆様の積極的な投稿を歓迎します。

送信先：kucdosokai@gmail.com Fax:075-241-4933

会員がkucdosokai@gmail.comにメールを送信されたとき、担当幹事は常時3日以内に受信した旨返信することとしています。非常に稀なケースですが、送信メールが正常に受信できないケースがあることが確認されました。もし返信が確認されない場合、お手数ですが090-2047-7757或いは上記Fax宛てご一報頂ければ幸いです。

(広報・企画担当) 石助正和 (S48)

# 京大合唱団同窓会 2015年度収支報告

(会計担当幹事 梅原節子)

## 〈一般会計〉

当年度会計期間：2015年4月1日～2016年3月31日

取 入	金額(円)	支 出(内訳)	金額(円)	内訳金額(円)
2015年度会費	643,000	同窓会通信発行費 (印刷、コピー費) (郵送、運送費) (事務用品費) (その他一般経費)	519,553	315,476
寄付 (66件)	340,000			185,209
受取利息	1,130			11,868
資金取崩	776,098	同窓会通信外の郵送、運送費	24,505	
		幹事会合費 (会場費) (その他一般経費)	41,752	16,324 25,428
		現団活動支援費 (新集会所の什器備品購入) (演奏会広告、スタンドフラワー) (定演入場券買取り) (交流会合費)	1,133,572	998,572 101,600 25,000 8,400
		会費郵便払込手数料	35,210	
		慶弔費(会員弔電)	5,636	
合 計	1,760,228	合 計	1,760,228	

## 〈特別会計〉

80周年記念行事

	取 入	金額(円)	支 出 (内訳)	金額(円)
総 会	懇親会費集金(¥5,000×131名)	655,000	太田区民プラザ使用料分担金	75,692
			懇親会場レストラン支払(120名)	600,000
			懇親会用名札ケース	4,524
ホーム カミング デー	懇親会費集金(¥5,000×61名)	305,000	懇親会場楽友会館支払(70名)	350,000
			ピアニスト謝礼	100,432
東北 被災地 訪問			マネジメント補助金	70,000
			学校訪問時の土産	39,600
マグ カップ	代金集金(¥2,000×109個)	218,000	マグカップ製作・送付運賃	102,285
			差引き振込手数料	6,000
	資金取崩	170,533		
	合 計	1,348,533	合 計	1,348,533

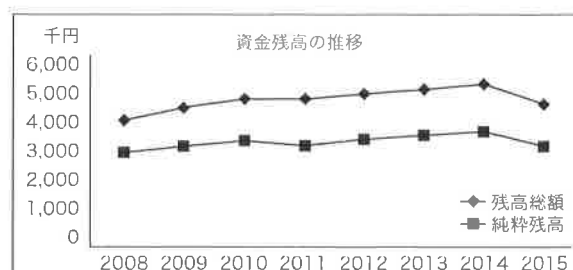
## 〈資金収支〉

	摘 要	金額(円)	内 訳	内訳金額(円)
取 入	2014年度資金残高	5,694,176		
	前受金 会費収入 繰越金		2014年度以前入金で2016年度以降会費 2014年度以前入金で2015年度会費 …① 2014年度以前入金、過年度会費を含む	838,000 427,000 4,429,176
	2015年度入金会費	804,000		
	前受金 会費収入 過年度分		2016年度以降会費 2015年度会費 ……………② 過年度会費	498,000 216,000 90,000
	収入合計	6,498,176		
支 出	会費支出	643,000	2015年度分会費一般会計へ ①+②	
	資金取崩	946,631	一般会計+特別会計	
	支出合計	1,589,631		
	* 残 高	4,908,545		

\* 残高(4,908,545円)の内訳  
 前受金(2016年度会費) 437,000円  
 前受金(2017年度以降会費) 878,000円  
 純粹の資金残高 3,593,545円

会計監査を実施した結果、会計帳簿の処理は適切であり、  
 上記報告書は適正に作成されていることを報告いたします。

2016年(平成28年)4月14日 会計監査：百々啓子



## キャラバンのマスターは語る



大学紛争のあの頃、私たちが寄ってわいわい、終電、門限まで議論した店、円居、このえ、フローラ。そして今、その店はキャラバン。明日は葵祭という日の午後の1時間余り、キャラバンのマスター上地秀夫さんにお話を伺いました。

**Q** マスターのお生まれは？

**A** 私は今65歳。生まれは京都で、中学は近衛中、ずっと野球少年でした。長く母子家庭であったため、さみしがりやの所があったかな。

**Q** 今の場所で店をもつようになったきっかけは？

**A** ここ（聖護院東町）はもともと祖母の家でした。それを少し広げて今の大きさにしたのです。今年で35年になります。

**Q** お店の経営は順調でしたか？

**A** 旧学生集会所が解体され、新学生集会所が出来るまでの2年間、店に来る学生の数が減り少し苦しかったです。

**Q** 京大合唱団のメンバーが来るようになったのは？

**A** あるとき京大合唱団メンバーがフローラで長く居すぎていやな顔をされ、別の店を探していたのがきっかけです。最初はバリトンのたまり場でしたが、次第に京大合唱団全体のものになってきました。

**Q** 京大合唱団以外の団体は来ますか？

**A** ええ。京大オケ、マンドリン、ギタークラブ、KVK（民族舞踊研究会）のメンバーも来ます。学生集会所の文化クラブ・サークルのほぼ全部ではないかな。体育会系では医学部の卓球部やバトミントン部が来ます。

**Q** キャラバンは京大合唱団にとってどういう場でしょう？

**A** L会（リーダー会議）やM会（マネージャー会議）が深夜まで、あるいは早朝から始まり、なかなか大変な場になることがあります。泊まり込みもありました。他のクラブ・サークルよりも話し合いは徹底しています。社会に出たらさまざまなことに揉まれますよ。この経験は社会に出たとききっと役立っていると思います。

**Q** マスターはメンバーに接するとき心がけていることはありますか？

**A** 私はメンバーと話すとき同じ目線で話します。これまでたくさん悩みを聞く機会がありましたが、常にこれを心掛けてきました。母子家庭で育ったことが影響しているかな。

**Q** 35年お店をやっていて学生の変化に気が付くことはありますか？

**A** 昔は、太っ腹な野武士のようなやつがいて、懐が温かいととき一人で皆に奔っていました。今は皆、細かく勘定し割り勘にします。

**Q** 京大合唱団の音楽づくりで何か気が付かれることは？

**A** 歌詞について多くの時間をとって議論するのに、歌い方はあまり議論しません。これは昔から変わっていないな。

**Q** 今年何か出かれていますか？

**A** この春の新勸（新人勧誘）により、男声20名、女声10名以上が入ったようです。新入男声は皆、イケメンです。

**Q** 同窓会に何かご意見がありますか？

**A** 今京大合唱団は演奏会するとき、裏方の作業を含め全てを現役でこなしています。受付を担当したメンバーはそのときステージにのれませんが、そうした役割を少しでも同窓会が請け負ったら喜ばれるのではないかな。

卒団後もその店に寄るといふ人もいて、知る人ぞ知る、70年代以降の合唱団の歴史を家族のようにご存知の方と今年「春の発表会」で隣り合わせになりました。今回1時間程のインタビューでしたが、卒団後の歳月が匂い立つように生きて感じられたのは確かでした。出来れば、今後とも、現団と私たちOBとの結び目のような抛り所であってください。

（編集子）

## 会員の近況報告

### Ensemble Eternalの活動紹介

2002年の演奏会をきっかけに集まったア・カペラの女声合唱団です。フラウエンコールの卒団生岡本慶子さんを中心に関西や名古屋の仲間と一緒に月1回のペースで歌っています。いろいろな所でミニコンサートを開催していましたが、2014年3月「京都堀川音楽高等学校音楽ホール」で単独の演奏会を行いました。同窓会合唱団の委員であった村林康恵さんは初期の頃、Ensemble Eternalにも参加し一緒に歌う仲間でした。2008年に病で倒れ自宅療養生活を送っています。自宅を訪問する度に参加できる企画ができたかと思っていまして、大津市に会場を見つけることになりました。2015年11月29日「旧大津公会堂」の演奏会では、村林ご夫妻と娘さんにも聞いてもらえました。村林さんの同期や同窓生の方々にも声をかけたところ、東京・岐阜・岡山など遠方からも駆けつけてくれ、演奏会のあとはミニ同窓会になりました。単独の演奏会は時々しか開けませんが、こつこつと歌い続けて行きたいと思っています。

木村充枝 (S51卒)

### アンサンブル・ヴォーチェの活動紹介

混声合唱団アンサンブル・ヴォーチェは、京大合唱団OBの五味建氏を中心に、宗教曲をオーケストラ伴奏で演奏する合唱団として1996年に発足し、以後、2年に1回のペースで演奏会を開催してきました。発足以来の指揮者五味氏は第9回演奏会を最後に退任されたため、新たに元関西二期会の石原哲氏を指揮者に迎え、昨秋の第10回演奏会はフォーレの「レクイエム」、「ラ・シーヌの雅歌」、シャルパンティエの「真夜中のミサ」をびわ湖ホールで演奏しました。現在、2017年秋の第11回演奏会に向けハイドンの晩年の傑作オラトリオ「四季」に取り組んでいます。オーケストラと共に作り上げる合唱音楽は格別です。アンサンブル・ヴォーチェの練習日は毎月1回、第二日曜日、場所は上京区荒神口の京都鴨沂会館です。団員は現在60名弱ですが、次の「四季」演奏に向けて各パートで団員を募集しています。歌ってみたいと思われる方、関心のある方は是非下記のブログを覗いてみてください。

<http://ensemblevoce.blogspot.jp/>

石津一正 (S48卒)

## 寄付へのお礼

2015年度、同窓会は84年を迎え、現団においては新集会所入居の節目の年となりました。特に現団では、団員数の減少により経済的苦労もあると聞いていました。現団活動支援費のうちおよそ100万円が、新しい印刷機や棚・キャビネット等の購入に充てられ、会員の皆様からの寄付が役立ったと考えています。

今回も延べ66名の同窓会会員から寄付を頂きました。金額としては34万円となり、同窓会活動の大きな資金となっています。今後も引き続き同窓会運営・現団支援のために寄付をお願いします。

匿名希望の方はご意志を尊重して略させて頂き、特にそうした希望がない方及び77歳超で寄付扱いとした方の御名前を掲載します。( )内は卒団年、敬称略。

梅原 節子 (S53卒)

尾谷 博敏 (1948)	前川 純一 (1948)	石川 進 (1951)	川崎 昭三 (1951)	佐藤 長光 (1952)
寺田能富子 (1952)	吉田 功稔 (1952)	磯山 清 (1953)	高橋 利江 (1953)	今西 茂子 (1955)
松本 貞子 (1955)	上原 貞二 (1956)	河村 正博 (1956)	前田 耿史 (1956)	牧野 輝勇 (1956)
泉 邦彦 (1957)	稲垣 洋吉 (1957)	岡 鉦次郎 (1957)	内藤 晃 (1957)	上野 武子 (1958)
尾田とみ子 (1958)	藤井 清司 (1958)	宮崎 達夫 (1958)	山岡 仁史 (1959)	吉田 郷弘 (1959)
伊藤 俊明 (1960)	中山 博之 (1960)	林 一三子 (1960)	増田 博 (1960)	井沢 良智 (1961)
上野 好 (1961)	小林 修平 (1961)	佐藤 誠 (1961)	藤沢 英達 (1961)	宮林 敬幸 (1961)
角家 義樹 (1962)	高西喜久子 (1962)	岡本 治子 (1963)	田原 幸子 (1963)	西村 勝 (1964)
北村 正昭 (1965)	井上 博子 (1966)	鎌田美都子 (1966)	松井 三郎 (1966)	柴田 史郎 (1971)
溝上 文子 (1971)	大澤 孝 (1972)	大河原有子 (1997)		

# お知らせ

## 京大合唱団同窓会ホームページ更新について

これまで京大合唱団同窓会のホームページは、維持費も含め吉田郷弘前会長のご厚意により運営されてきましたが、ただ今アルマ・マータ・クワイアのホームページを手掛けられたWEBデザイナー坂本政弘氏に依頼し更新中です。同窓会の活動や幹事会報告、同窓会通信の掲載は従来通り継承しつつ、新ホームページでは同窓会員からの投稿や情宣の場も提供して行きたいと考えています。

また、皆さんが撮影した過去から現在に至るまでの同窓会員の写真を投稿いただき、写真館のようなものも作る予定です。…私に写真を撮られたことのある人たちは戦々恐々としておられると思いますが。



ホームページTOP PAGE案

投稿に関しましては同窓会員の所属する合唱団の情宣のように「同窓会員全体に告知したい」と同世代の会員への「呼び掛け」や「お誘い」のようなものがあると思います。

一部の特殊な経歴の方を除き、皆さんが同じ時代を過ごしたという認識をお持ちなのは、おそらく前後3年程度の年代の方々だと思いますので、全体への発信だけでなくある程度各年代に振り分けた発信もできるよう検討中です。

当面は担当幹事である私が投稿の振り分けや写真の選択や掲載を行いたいと思います。投稿や閲覧の際には同窓会員であることを確認するためユーザー名とパスワードを入力します。それらの情報は改めて本同窓会通信にて連絡しますが、運用開始時のユーザー名はkuckonoe、パスワードはcaravanとなる予定です。

何らかの原因で外部からの不適切な投稿が増加した場合には変更しますが、その場合も同窓会通信で変更したユーザー名、パスワードと変更予定日をお知らせします。私の作業が追い付かなくなる位ホームページが盛況になることを願っています。

笠原 浩 (S57卒)

## 編集後記

毎度思うことだが、演奏会っていいものだ。ことに、ラストのアンコール。

壇上には、20数人だろうか。新人たちも最前列に集合し、歌いだしたのは「群青」。ああ、その曲こそは、5年前の東北の大震災の、とりわけ、福島原発で、故郷を追われた小高中学で生まれた、今や「花は咲く」同様、全国的に知られている曲。京大合唱団「春の発表会」でも歌われたのだった。この目新しい歴史のスタートを見届けての思いは「ありがとう」。アンケートにそう書いた。

さまざまな思いが寄せ集められ、恨んでも仕方がない海に向けられるこの歌。私たち同時代を生きる仲間と、あふれる涙の中で歌っても歌っても、命は帰らない、取り返しのつかない歴史の渦中にあるわたしたちだ。

大きな去年の行事を乗り切って「蔵王」を歌い始めた同窓会合唱団。指揮者上床氏は「死んだ男の残したものは」と共にかつてのレパ「筑後川」の終曲「河口」も提案された。「筑後平野の百万の生活の幸を祈りながら川は下る有明の海へ」

演奏に涙は禁物とされるが、ふるさとの山「蔵王」の讃歌を歌いながらやっと超えた三月だった。なのに何という四月が控えていたのか。火の国水の国、誰彼の故郷熊本をまた大地震が襲った。

信じがたいような早さで、昭和が去り、平成も、終曲の時か、などと思うこの頃、合唱というチームプレーのとりわけ、90年近い歴史の後ろだてというぬくもりの中から、何ができるのか。「群青」と「筑後川」の終曲を若い皆さんと共に歌えたら、などとこの秋の催しを思ったことであつた。

石動敬子 (S48)